

懸賞應募實話標語審査に就いて

本會が昭和十一年六月一日付を以て、道路の改良並愛護に關する實話標語の公募を「道路の改良」誌に廣告し、同時に内務省各土木出張所長、各府縣知事、全國市町村長に依頼して各管内及全國小學兒童に募集趣意書を配布するや内地各府縣は勿論、朝鮮、臺灣、關東州、滿洲國、中華民國等よりも多數の應募者があり、本誌十月號で概要を報告した如く八月末日の締切日には、第一類一般の實話四百二十一通、同標語一萬五百二十枚、第二類小學兒童の實話百六十四通、同標語九百八十六枚の多數にのぼつた。而してこれが審査に當つては、審査員會議の下に慎重徹底を期し、爲めに豫想外の日子を費し其の發表を延期するの已むなきに至つたことは應募者各位に對し深くお詫びを申上げる次第である。

實話の審査方針は先ず實話として記述された事實の有無を調査し、次にその内容が眞に募集の趣旨に適合して、よ

く道路改良の效果を表現して居るや否や又愛護思想の普及に效果あるや否やに重點を置き併せて文藝上の見地から慎重審査を遂げ、別項發表の如く決定を見た。

標語の審査については、一標語で道路の改良並愛護に關する思想を兼ね表はした優秀なもののがなかつたので、改良に關するものと、愛護に關するものとを夫々一つ宛天に選定するの餘儀なきに至つた。更に、既に各府縣に於ける公募に當選した標語と全く同一のものは、假令優秀であつても入賞せしめないこととした。この點については、切に應募者各位の御諒承を乞はねばならない。又小學兒童の標語については特に天真爛漫たる童心の發露を尊重し、代作の疑ひ充分なるものは不採擇とした。右の方針に基いて慎重審査の結果別項發表の如く決定を見た。尙應募標語中同一標語に就いて二人以上の應募者があつた場合には、先着者を以て當選者と決定した。(一審査員)

群馬縣新田郡縄打村

竹サンノ勵キ

新井 熊次

曾爾街道改良の譽

奈良縣宇陀郡曾爾小學校

北海道龜田郡戸井村

父と道路改良

後藤 一利

S村の發展小史

松本 武藏

茨城縣水戸市天王町

道路改良で理想の村に 小田 正則

山口縣熊毛郡三井村

磯濱街道の驚異

選外佳作

淺香 小兵衛

あらが郷土の誇り道路に祈る

三重縣龜山町大字龜田一四

水野 惠道

黎明の歓喜

神奈川縣高座郡海老名村

吉成 博孝

無題

廣島縣豊田郡南方村

篠遠允志

道路についての思ひ出

東京市麻布區竹谷町一ノ八七

松風館

道路改良實話

静岡市久能小學校

小堀 義夫

無題

大阪市東淀川區天神橋筋八ノ三四箇井方

藤岡 三郎

僕等の學校

東京市板橋區板橋町五丁目一〇一四

佐渡 鐵雄

道路を改良して誕生した私

故郷の今昔

高橋 勝

群馬縣吾妻郡高山小學校

一場 四郎

道路改良實話

三重縣員辨郡白瀬村

近藤信太郎

道路愛護の實績に就いて

埼玉縣土木課

石山榮之進

山口縣熊毛郡島田小學校

空知郡八幡小學校尋四

道路改良實話

笠本吉裕

道路上に輝く兒童の愛

上川郡東川第二小學校尋五

憂鬱から明朗へ

田中三郎

道路直し

地天

道路改良

道人

道路改良へ

勇拂郡占冠村

字治銘茶の生命線たる大產業路

田母神慶一

の改修を讃ふ

思ひ出の道路改良

産業道路の開發

美徳清一

黎明は道路から

高座郡綾瀬小學校尋六

京都府紫野御所田町三〇

大久保トミ

石川縣鳳至郡門前町

剣持モト

落久保文郎

高二尋三

救濟道路で文化の恩澤

小山シズ

佐賀縣東松浦郡私立貝岩小學校

一

道路改良の實話

森作次郎

第二類 小學兒童

中橋

黎明は道路から

共人

北海道

共同の力

道路愛護の標語の前で

森山安良

一

自動車の難儀

道路のおかげ

兵庫縣

下里道路愛護團

長崎縣

人

私の村の改良道路

新潟縣

人

道
村の新道

北魚沼郡泉水小學校尋六

加西郡下里小學校高二

北松浦郡大野小學校尋四

仙臺市木町通小學校尋五

土岐郡笠戸小學校尋五

田戸敏一

高一山田ハツ

豊福ふみ

前田哲男

道路の改良

道
路

宮城縣

伊藤清吉

人

斎藤信子

男澤小枝子

道路の改良

題

岩手縣

無

道
新道

天
地

膽澤郡水澤小學校高二

登米郡新田小學校

伊藤清吉

斎藤信子

男澤小枝子

高橋信子

高橋ヒサ

尋五

尋五

東田川郡黒川小學校尋五

佐藤勝見

尋四

稻敷郡君原小學校尋四

小松澤正英

道ぶしん

天
地

道を大切にしませう	人	志雄小學校尋五
道路愛護	人	林 外 男
我等の道路を愛しましよう	人	木 井 章
道路愛護	人	木 井 章
道路愛護	人	木 井 章
我等の道路を愛しましよう	人	木 井 章
道路愛護	人	木 井 章
道路愛護	人	木 井 章
道を大切にいたしませう	人	木 井 章
石川縣	人	木 井 章
天	人	木 井 章
羽咋郡上熊野小學校尋二	人	木 井 章
北志雄小學校尋五	人	木 井 章
中 村 喜 子	人	木 井 章
北 山 昌 寛	人	木 井 章
岡 山 縣	人	木 井 章
道路奉仕	人	木 井 章
岡 山 縣	人	木 井 章
都窪郡妹尾小學校	人	木 井 章
石 倉 一 雄	人	木 井 章
淺 越 鈴 子	人	木 井 章
山縣郡都谷村	人	木 井 章
幡 司 好 男	人	木 井 章
僕等の道路愛護	地	高一尋六
橋 本 秀 男	地	阿 部 房 子
廣 島 縣	地	高二尋四
私 の 見 た 事	地	鷲 井 お 清
道 を 大 切 に い た し ま せ う	地	五十嵐 和 子
石川 縣	地	島 根 縣
だ う ろ あ い ご で	地	道 路 愛 護 日
僕 等 の 道	地	新 道 路 力 出 來 夏
道 路	地	能 美 郡 下 大 杉 小 學 校 高 一
加 茂 小 學 校	地	南 邑 知 小 學 校 � 寻 五
藤 澤 外 吉	地	宮 下 壽 子
無	地	中 橋 勇 平
僕 等 の 道 路 愛 護	地	美 代 子

人

安佐郡久地村

道路を廣くして效果が有つた事

廣澤一郎

道路改善

香川縣

新道路天

三豊郡詫間小學校尋六

石原美智子

道路

塚本シズ子

新道路地

高二

林正男

大分縣

新らしい道路が開設されて

高三

鎌倉竹三郎

道路の尊さ

道路愛護の實踐によつて得た效果

尋六

磯崎カツミ

佐賀縣

改良された道路を大切に

道

路

新道路人

熊本縣

新道路天

小城郡中澤町小學校高一

梅崎千代乃

新道路地

田川郡奈良小學校尋五

江崎秀夫

大分市大分學習館第一學年

新道路人

新道路日

嘉穂郡片島小學校尋二

田中ハツ子

末武快自

新道路天

新道路地

道路の有難さ

鹿兒島縣

上益城郡上益小學校

新道路人

新道路天

鹿兒島市大龍小學校尋四

藤本次雄

三枝茂夫

新道路人

新道路天

久保山マサ子

僕等の通學道路

新道路人

標語ノ部

第一類 一般

天

躍進日本道路から

福岡縣三井郡本鄉村大字甲條九九一
愛知縣知多郡龜崎町

中村長繁

尊い道路忘るな愛護

富山縣福山市三吉町上ノ丁二八六
東京市下谷區初音町二ノ五
伊原方

丸田徳美

愛護の美風に輝く道路

三重縣志摩郡布施田村

服部清太郎

氣持よい道不斷の愛護

靜岡市追手町發文庫
富崎縣西諸縣郡加久藤村大字永山

花井芳江

進む時代に後れぬ道路

大阪市東成區腹見町六〇〇

南立身

道路改良榮ゆる郷土

東京市深川區牡丹町一ノ五金子治療院内

高戸實

良い道住みよい通りよい

岡山縣新見土木出張所

芳野利子

吾等の道路吾等で愛護

靜岡縣金谷町金谷河原一八五四

松田耕齋

道をよくして國富ませ

宮城縣登米郡寶江村荒谷

逸見徳次郎

進む文化に後れぬ道路

福岡市馬屋谷二六三ノ四

八十豐藏

狭い道でも手入で廣く

遠藤靜

何時も良い道日頃の愛護

山口縣玖珂郡高根村

吉村藏助

地方開發先づ道路

中牟田高尙

國ノ文化ハ道路カラ

木原幾三郎

選外佳作

茨城縣稻敷郡奥野小學校

横瀬幸之助

里の人情道路が示す

道路開けて土地開く

東京市四谷區永住町二二及木方

江原隆

岐阜縣大野郡上枝村大字山田

柳原

榮藏

道路の改良伸び行く文化

長野市南千歳町二〇五

渡邊喜一郎

伸びる繁榮道路が手引

滋賀縣蒲生郡金田村大字淺小井

藏立喜之助

道路愛護で伸び行く郷土

京都市烏丸通八條下ル西入

濱田紫水

道路の愛護は我等が使命

鹿兒島縣出水郡三笠村脇本

大渡嘉人

第二類小學兒童

天然資源も道路で生きる

和歌山縣日高郡船着村

岡田義一

北海道

道路拓イテ資源ヲ活カセ

山口縣熊毛郡曾根村

田村壽士

綺麗な道路楽しい通學

標津郡標津村三十六區
公立養老牛尋常小學校

愛護ノ一心道路ノ一新

秋田縣由利郡松ヶ崎村

遠藤怜子

地人

苦前郡羽幌町羽幌尋常高等小學校

たやすい奉仕道路の手入

神奈川縣津久井郡吉野町

岩崎勇

道路の明朗僕等の力

上川郡西神樂新區割
神樂西第三尋常高等小學校高一

無言の道路上に無限の愛護

茨城縣稻敷郡木原村布佐

石引眞一

あなた道路私の道路きれいな道路

西館幸吉

村の榮は先づ道路から

石川縣羽咋郡鈴打村宇島越

永樂利英

道路愛スハ我等ノツトメ

上川郡東川第二尋常小學校尋六

伸び行く道路に榮ゆる日本

岐阜縣吉城郡阿曾布村數河

淺井宗平

一人一人が道路を護れ

千歲郡鳥松西四南一九島松小學校尋四

高橋茂治

天

東京市淀橋區十二社二七〇
同淀橋第六尋常小學校

神奈川縣

進むよ文化は道路から

横須賀市澤山小學校等六
大村育雄

地

東京市本所區本横小學校等五
きれいな道路はお國の誇

人

高座郡綾瀬尋常高等小學校高二
高橋一吉

きれいな道路たのしい登校

高一

今日の日課道路の愛護

東京市中野區宮前町二四
同谷戸尋常高等小學校高一

人

鶴見謙一

今日の日課道路の愛護

東京市大森區入新井一ノ一九九
同大森第五尋常小學校

人

愛郷の心道路の修理

あの道もこの道もみんなきれいでうれしいな

東京市四谷區三光町五三
同澁谷區代々木初台四九六

人

きれいな道路は村の誇

あの道もこの道もみんなきれいでうれしいな

東京市大森區入新井一ノ一九九
同大森第五尋常小學校

人

道をなほせば車は走る

綺麗な道路は郷土の譽

東京市四谷區三光町五三
同澁谷區代々木初台四九六

人

立派な國には立派な道路

京都府

京都市松尾尋常高等小學校高二

天

川邊郡園田第二尋常高等小學校高二
田中永治

美しい日本を道路で飾れ

岩本市司

人

今日は日曜道路はき

大阪府

大阪市東區内久寶寺町三丁目一六
南大阪小學校

地

道路愛護は僕等の手で

守れ公徳愛せよ道路

淺井顯三

長崎縣

神崎郡栗賀村栗賀尋常高等小學校

秋山俊爾

松井澄子

天

立派な國には立派な道路

綺麗な道路は郷土の譽

同澁谷區代々木初台四九六

地

立派な國には立派な道路

京都府

京都市松尾尋常高等小學校高二

天

立派な國には立派な道路

美しい日本を道路で飾れ

岩本市司

人

今日は日曜道路はき

大阪府

大阪市東區内久寶寺町三丁目一六
南大阪小學校

地

道路愛護は僕等の手で

守れ公徳愛せよ道路

浅井顯三

長崎縣

神崎郡栗賀村栗賀尋常高等小學校

秋山俊爾

藤井良太郎

天

立派な國には立派な道路

綺麗な道路は郷土の譽

同澁谷區代々木初台四九六

地

立派な國には立派な道路

京都府

京都市松尾尋常高等小學校高二

天

立派な國には立派な道路

美しい日本を道路で飾れ

岩本市司

人

今日は日曜道路はき

大阪府

大阪市東區内久寶寺町三丁目一六
南大阪小學校

地

道路愛護は僕等の手で

守れ公徳愛せよ道路

浅井顯三

長崎縣

神崎郡栗賀村栗賀尋常高等小學校

秋山俊爾

小林ひな子

天

立派な國には立派な道路

天

對馬奴加岳村小綱尋常高等小學校

榮へるお國良い道路

波田幸人

御國の爲だよ道路を愛せ

中川長藏

地

上縣郡仁田小學校高一

愛せよ道路世に出せ郷土

新歩一義正

善き道路は國家の誇

北蒲原郡川東尋常高等小學校高二

埼玉縣

小柳秀一

南松浦郡青方村
青方尋常高等小學校尋五

國の榮は道路より

鐵川喜一

入間郡入西村北大塚入西小學校

伸び行く村によい道路

關根伊佐子

道は汚さぬかしこい子

佐世保市八幡町六五同八幡小學校高二

天

秩父郡横瀬村横瀬小學校高二

人

賀村朝子

今日の一善道路の手入

南彦平

道は汚さぬかしこい子

西彼杵郡崎戸町鰯浦小學校高二

天

秩父郡高篠村高篠小學校高一

人

松本砂雄

村の誇りを道路で示せ

白井信八

新潟縣

群馬縣

道路愛護も忠義の一つ

五十嵐定一

利根郡薄根村

地

刈羽郡内郷村下山田

地

利根郡薄根村
利根尋常小學校尋五

こぞつて護れ我等の道路

中川尋常高等小學校高二

人

利根郡片品村
片品尋常高等小學校高一

國家に貢献道路の愛護

佐藤春雄

道はきれいにたいせつに

大内英男

伸せ愛の手道路の上に

今井練造

千葉縣

利根郡片品村
片品尋常高等小學校高一

人

古志郡荷頃村
荷頃尋常高等小學校尋六

天

長生郡關村小學校尋五

人

渡邊節子

通り良い道不斷の手入れ

渡邊節子

茨城縣

天

新治郡田餘小學校尋五

野口愛子

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

庭をはくなら道路まで

地

行方郡香澄尋常高等小學校高一

吉川敏子

地 多氣郡三養尋常高等小學校尋五 野呂妙

立派な道路は日本のほまれ

人 行方郡香澄尋常高等小學校高一

吉田喜三郎

地 多氣郡三養尋常高等小學校尋五 野呂妙

交通の安全は道路の愛護から

人 船倉傳次郎

吉田喜三郎

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

栃木縣

天

安蘇郡葛生町葛生尋常高等小學校

足利郡毛野尋常高等小學校

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

伸びる道路に愛護の力

秦茂雄

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

人

足利郡毛野尋常高等小學校

江原ヤス

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

一日一善道路に奉仕

秦茂雄

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

奈良縣

天

高市郡船倉村大字藤井

佐倉靜齋

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

みんなで道を愛しませう

静岡縣

三重縣

高市郡船倉村大字藤井

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

道を愛して村榮ゆ

天 多氣郡五ヶ谷村三養小學校

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

林喜代子

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

鈴木三郎

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

人 愛郷は愛路より

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

犬居町犬居小學校高二

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

鈴木三郎

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

美

地 河藝郡高戸町尋常小學校 藤田道

岐阜縣

天

竹ヶ鼻小學校尋四

みんなの道をみんなで護れ

地

土岐郡笠戸村笠戸尋常高等小學校

道路修理も忠義の一つ

人

立派な道路郷土の誇

長野縣

天

長野市城山尋常小學校尋五

オ國ノ道路大切ニ

地

北佐久郡御代田小學校高一

道路愛護で御奉公

宮城縣

人

登米郡新田村新田尋常高等小學校

産業開發立派な道路

道路は國の寶なり

高橋信男

道路愛護ハ富國ノ基

福島縣

懲賞募集集

地 信夫郡渡利村第一尋常高等小學校
菅野善次郎

道路愛せよ國のため

高野正雄

道路愛して祖國を守れ

岩手縣

天

東磐井郡小梨小學校高二

直セ道路積出セ物資

地

道路通ジテ村豊力

人

昨日ハ荷馬車今日ハ自動車

高二 小野寺アヤ子

高見澤良三

道路は綺麗に歩きよく

水澤町小澤尋常高等小學校

小岩一榮

青森縣

人

東津輕郡西平内村山口尋常高等小學校

高橋信男

千代谷一衛

山形縣

人

寒河江小學校等四

よき道作れよき道進め

長岡晴義

誰でも道路を大切に

島田信一

羽咋郡志雄小學校高一

秋田縣

人

仙北郡田澤村田澤小學校

道路愛護も小さな手から

千葉ヨウ

道路は愛護でよく生きる

佐々木泰彦

福井縣

地

三方郡耳村耳尋常高等小學校

道路は綺麗に通りよく

大鹽三好

道路を守れよ僕等のために

羽咋郡散田尋常小學校

中山登

僕らの道路僕らで愛護

岩木強治

富山縣

石川縣

天

能美郡新丸尋常高等小學校等五

我等の道路だ我等で開け

大浦健次

道路の改善みんなで實行

富山市安野屋町安野屋尋常高等小學校

福井縣

地

羽咋郡北志雄尋常小學校等五

明るい村にりつぱな道路

中谷潔

きれいな道路は僕等の誇

富山市安野屋町安野屋尋常高等小學校

道を良くせよ文化は進む

富澤姉美江

道路掃除モ日課ノ一ツニ

富山市外山室村山室尋常高等小學校等四

富山市安野屋町安野屋尋常高等小學校

木戸重人

一等國に恥ぢない道路

佐渡郡出雲村立堀尋常高等小學校

藏田一末

他國に負けるな道路の美德

島根縣

地

仁多郡阿井村阿井尋常高等小學校

僕等の道路にいたしましよう

森長晃二

愛護の結晶輝く道路

仙崎町仙崎尋常高等小學校

油谷ミネ子

人

簸川郡國富村尋常高等小學校

愛と情を道路へも

玉木千代子

産業交通先づ道路

新宮市熊地蓬來尋常小學校

山本惠吾

岡山縣

天

小田郡今井尋常高等小學校

躍進日本道路から

東山武夫

道路大切御國の寶

山本忠巳

地

道路良くして文化へ進め

明石和子

誇る道路は愛護の力

長谷川マスエ

廣島縣

天

佐伯郡平良村平良尋常高等小學校尋四

みんなの道路みんなで愛せ

東山武夫

僕等の一善道路愛護

那賀郡都賀敷小學校

小原享

地

安藝郡上蒲刈島村田戸尋常高等小學校

良い道ある村榮える村

笙野武信

汗で改良笑顔で通行

三豊郡大見小學校高二

三谷マスミ

山口縣

地
築上郡角田村角田尋常高等小學校

鹿兒島縣

道路はきれいで大切に

天田幸秋

嘉穂郡二瀬町片島小學校高一

道路愛せよ我等の道路

小林喜美子

公徳の第一歩は道路愛護より

小宮山

臺
游

大分縣

高雄州旗山郡美濃公學校

七

國のさかえは道路から
地
東國東雅奈狩江村
豐津尋常高等小學校等五

井門進

蕉幕
禦毛

國の吉川は道路から

佐賀縣

地

東松濱君麗木村岩尾等常小學校
坂田美道を直して住みよい町に

坂田美惠子

卷之三

14

阿蘇郡宮地尋常高等小學校

僕等の道路た
僕等で改善

高橋直士

卷之三

兒湯郡村所尋常高等小學校高二

道路愛護ぞ何より奉公

中武久治

X
—
X

應募標語中既往篇選標語と全く同一標語なるの理由にて不採擇となれるものゝ内には左記の如き優秀なるものがあつた。

入賞作品

一般實話

天

長關國道

山口縣豐浦郡長府町中ノ町濱

草川淑子

木犀の匂に交つて堆肥の匂があたりにたゞよつてゐる。
ドングリだらけの櫻の木の下に、底の方に豌豆の入つた籠
を置いて

「祖母ちやん歸つたゞよ」とお春は縁に廻つた。床下の高
い縁側に、絆の座布團を敷いて小春日和を背中で受けてゐ
た老母は

「もうみんな薄いたゞか」

「ウン急いで薄いて來たよ、お祖母ちやんがお寺詣りする
云ふけえナ」

「あほけえ、すまなんだのう」

「箱車の用意しやうナ」午下りの陽が明るく柿が好い色に
照らされてゐる。

「あゝ喉がかはいた」お春は竹竿で珠みたいな熟柿を上手
に二つばかり取ると一つを祖母に、美くしい紅をスル／＼
と吸ふ。垣根の、芙蓉が、たわゝに揺れて、其の上を赤と
んぼが、ツーと走る。季節々の畠の作物を入れて、朝毎
長府の町へ賣りに出かける箱車は、忽ち祖母の乗車とかは
つて米一升にお賽錢を入れた風呂敷を抱へた祖母が其の中
に納る。

「さあ行こ、あゝまだ杖が入つとらんナ、草履も」と甲斐



甲斐しく孫娘は赤メリソスの帶に帯びを通し乍ら、珠數も一緒に箱車に入れる。乾燥して褐色の肌をした道は栗のいがやドングリがこぼれて、藪から顔を出した、からす瓜の紅色、雜木林の枝にからんだ自然諸の葉の黃色、田も林も秋の色一色に黄金の穂波はさわ／＼と心地よく鳴り渡る。

へのへのもへの

の案山子の姿面

草川

白く、自然の秋

淑子

は、こゝ農村に

嫁ばかり豊かにお

とづれたかと思

はれる「ヤア、徳田んとこの祖母さんまた、寺詣りかナ、

あんたが一番えゝ事やナ」

綺麗に畠をならしてゐた百姓が、笑ひ乍ら聲をかける。

「お寺詣りが一番樂しみじやでな、嫁や、孫がようしてくれるけえ、わしや仕合せもんやで……まあ若いもんナ精を出しなはれ」

田舎道が切れると、眺望忽ち開けて、青松、長く藍をとかした海面はるかに満珠千珠の二島が繪のやうな鮮やかさかた／＼搖れてゐた車は、空を行く様鋪装の出来た長關國道をスツと走る。

「お春、この道かや、國道ちゆうのは」

「うんさうや、小月からづつとな、下關まで續いとるのや

祖母ちゃんはまだ一遍もこの道見なんだのやナ」

「一體、舊道は何處さ行つた」

「あゝあれや」お春の指す方、蜿々二條の線路と並んで荷馬車の、轍のあと、鐵のやうに盛り上つてデコボコかたまたた舊道が人跡絶えて、草に埋もれやうとしてゐる。

「へエ、あれかえ」祖母は感慨ぶかけげに

「あの道をナア、何十年もわしあ、天秤かついで、下關へ暗い内から物賣りに行つたものやがナアあの頃こんな立派

な道路があつたら皆苦勞するもんな無かつたゞに……」

「ほんまに立派な道路じやらうがナ祖母ちゃん、何でも京濱國道よりも立派で廣うて、風光明媚な國道じやと云ふて

東京から來た、人が驚いたちゆふし、ドライブに來た西洋

人が吃驚してゐたさうな……」

「お春一寸止めておくれ」

「ウン」

「降ろしておくれ」

「ウン」

「どうするんや歩くのかえ」お春の手を借りて年寄は鋪道にピタリと座つて了つた。

「祖母ちやん、どうしたんや」

「長生はしたいもんや、ほんまに有難い御時世になつたのう、これもみんなお天子様の、御稟威感じや、わしや祖父さんの事を思ひ出した。十年前じやつたよ、祖父は、小月の

時や、まだ覚えとるやらう」
「ウン」
「祖父はまだえゝ、年寄じやけえ諦もつけよう、が、花嫁さんを乗せた自動車が、あの踏切で汽車にぶつかった事があつたで。運転手は皮肉に無事、仲人は即死、花嫁は足がもがれて、美くしい顔は額から鼻にかけて、柘榴の實みたいじやつた。命は助かつた悪い事にのう、命あつての物種ちゆうが、わしあ、花嫁さんの先の事を思ふと心が暗うなる。小月から下關の商店へ嫁いだ其の嫁さんは、其の後何度も死のうとしたさうな……無理も無いのう、つひこの間も、あの踏切で勇吉が、死んだのう」

「うん可愛さうな事をしたで祖母ちやん、病氣の母親を抱へて、新聞配達をして學校さ、行きよつた。尋常六年で、とてもよう出来る活潑な子やつたナ、こんな子を、埋もらすのは惜しいけえ云ふて、校長さんが、舊御城主の毛利様へ給費生になれるやうお話を進められといつたさうな、あナ、祖父は、足と胴が離れぐじやつた……お前が九つの朝も三時に起きて、町の特約店に新聞取りに出かけて懶

かれたのや母親が氣狂ひみたいになつてナア……」

「……無理も無い、母親の歎きもじやが、末は國の柱にもならう事を、むざく散らせた、ほんとに、あの舊道の魔の踏切は、何人の人の血を鐵路に流した事か。天氣が續けや、黃粉の中を歩く様、埃が、雲みたいに舞ひ上つて先が見えん、一雨降ると、昧憎汁みたいな道は、膝までぬかつてのう、それを乗合自動車が、通る人に駒まで泥水をはね

上げて、走るのじや、始めて長府に來る人は、二度と來るところじやねえとよく云ふた。それがこんな西洋の活動で見るやうな道が出來た」

「この頃はナ祖母ちやん、胸に花をつけた團體のお客さん
が、とても澤山來るやうになつたで、乃木神社や、忌宮神
社にお詣りして、長府は、えゝところじや、道はえゝし、
海の景色は、えゝし、電車の便利はえゝし、道幅は廣うて
町は綺麗じやと云ふてナア」

「あゝ有難い事じや」祖母は両手で、碁石の様にすべく
した鋪道を撫で、立上つた。

「わしあ、歩いて行かう、なむあみだぶ／＼」杖をついて
なめらかな道路を、祖母は孫娘に手をひかれてしみぐ歩
いて行く。松並木の向ふ一際濃い楓の紅色の下お寺の山門
が、見えて來た。

小學兒童實話

天

道 路 直 し

北海道空知郡八幡丘尋常小學校

五年生 笹 本 吉 裕

僕の家では昨日ポンプを破したので、僕が市街に出かけました。丁度その日は降りつづく雨の日、それに風があつたので全くひどかつたです。道もこはれてゐて自轉車も動かない様な所ばかりでした。丁度市街より歸りに正一君と一緒にになつたので、あの長い坂をへと／＼になつて登つて來ました。そして途中、道路の話をしました。その明日學校に行つて五年生の自治團の人や兒童團の人々と相談

をして學校より市街へ出る道を一週間の豫定で毎日、學校
歸りに直す事になりました。やつと今日で三日目の日又雨
が晝より降り始め、せつかく直した道も大丈夫かしらと案
じてゐました。學校が終つてから、早速直しに行きました
が道は雨の爲かへつてよくなつた様になつてゐました。僕
等が直してゐると村長さんが通つて「おお偉いなあ」とに
こにこしながら通つて行きました。

その明日はどうでせう。村の人達大勢が集つて來まし
た。僕等の一人が「皆んな村の人達は畑に行動いて下さい。」
と言ひました。そうすると、その中から、昨日の村長さん
が出て、「皆んなこんなに、村の爲に盡して下れるのに黙つ
て見ておられない」と言つて、村の人達で道を造り始めま
した。すると校長先生も百姓姿で出て来て手傳ひました。
その爲一日間で立派な道路に仕上げてしまひました。終つ
て口笛など吹きながら歸途についた時、道を歩いた時の氣
持は、ありくと頭の中に残つてゐます。その時の氣持は今
でも忘れられません。それ以來私達郷土八幡丘は除蟲菊の

名産地の一つと數へられ八月頃になると、今迄、上つてこ
られなかつた自動車が毎日の様に樂々と上つてくるのを見
て私達が直した道がこんなに役立つ様になつたので、全く
飛上る程うれしい心持がいたしました。町へ出ると道路の
よい評判で、もてあましてゐるさうです。自分の村を自分
達で名譽にした事は全く喜ばしいものです。先生は何時も
言つてゐます。「道路は交通上大切で又文化上に取つてなく
てはならないものである」と言ふ事をつくづく感じまし
た。學校の廊下に掛けてある、ポスターに「一寸一鍼立派
な道路」といふ標語がつくづく身にしみました。今年の三
月も、北海道廳より表彰されました。表彰状は今學校の一
番目のつく所にござつてあります。それはそれは私達の手
で直したから特別學校にござつたのださうです。

よ ろ こ び

福岡縣田川郡後藤寺町奈良小學校

江 崎 秀 夫

昨夜から降り續く雨は今朝になつても、未だ止まず、か

へつて昨夜よりも一層激しく降つてゐました。僕達はそれでも元氣よく、どしや降りの雨の中を走る様にして學校の手前のガード迄やつて來ました。

此のガードは上が鐵道線路になつてゐるので、非常に低くて貨物自動車や馬車等の荷物の高い時は天井につかへて進む事が出來ないので、仕方なしに荷を半分位下してからガードを越してそれから運轉手さんや助手さんが後の荷物を一つ一つかついでガードの向ふの自動車へ積むのでした。でも後藤寺町と伊田町との間には外によい道がありませんので、ガードの中はもう水が侵入してゐました、こゝでは雨はかゝらないけれども、自動車が走つて來たりして、トボシリをかけるので僕達は又直ぐに登校の途に就いた。もう學校もひける頃なのに、雨よ、止んでおくれ、と心の中で祈つたけれども憎らしい雨は止んではくれなかつた。勿論雨の事や歸る時の道の悪い事等を思つてゐたので、先生の言ふ事等は耳にも這入らなかつた。

すると學校の小使さんが来て、先生と何か話してゐた

が、「平松と伊田方面の人は一人一人歸らないようにして下さい。兄さんや姉さんが居る人はなるべく一諸に歸りなさい。伊田の方に行く道のガードに水が一杯溜つてゐるから、氣を付けてお歸りなさい。」と言はれました。水は毎年出るので、さほど喫驚はしなかつたけれども、今年は例年よりも雨も多いし、又先生が注意する程だからと言ふ疑惑が起つた。

もうガードの入口には人間否、傘で一杯だつた。ゴオーゴオー恐ろしいような音を立てゝ濁水が下駄や木竹片を浮らして、入口の横の大溝の中へ落ちてゐる。

學校の先生達も四五人來て、はだしで指圖をしてゐました。僕はズボンをまくり上げ袴や下駄等を高く持つて勢強い濁水の中へソロ、ソロ這入つて進みました。

道は狭いし、其の上兩側には深い溝があるので、眞中を選んで行きました。水はともすれば僕の身體をも流さんと勢激しく流れています、下を見て歩めば目が廻るやうだし、下を見ねば横の深溝に這ひるやうだし。時には石や金

などで、足を傷めたりして進行して行きました。もうガードの半分頃と思つた時、突然一尺ばかり、身體が下つたのでヒヤツとしました。水がずうーと咽喉のところ迄上つて來ました。

僕は急いで、此の穴は狭いのを知つてゐたので出ました。

中の方は不斷でも薄暗いでしたから電燈がついてゐましたが、此の大雨で線が切れたのか、危険なので消してゐるのか、電燈は燈いてゐず、ガードの中は真暗いやうでした。

一年生や二年生の下級生達は高等科や補習科の生徒に背負はれて渡つてゐました。

ズボンやザツノウ等はびしょ、びしょに濡れてゐて、水勢もはげしいので殆ど進んでゐるのか進んでゐないのか分らないくらい歩んでも、歩んでも仲々ガードの外に出て来ませんでした。道は悪く、其の上狭くて、地勢が低いので、

伊田の水と、後藤寺町の水が全部此のガード附近の大溝に寄せてくるのですが、大溝も一杯で溢れ、そしてガードや

其の附近の處に迄水が來るのでした。僕は泣き出したいのを忍んで、やうやくのことで外へ出る事が出来ました。大勢の迎への人や渡る人達の間を潜つて始めてほつとしました。

人間生活するにとつて大事な道路、僕達が通學するに大切な道が、まして後藤寺、伊田兩町をつなぐ重要な道路が、こんな事では道路の價値は一つもありません。國民の汗の賜が、昔なら兎も角、スピード時代の今日、交通發展の現代に狭い、悪い、不便な此の道路、スローガンにも道路の發展せる國、文明國、とあるではないか、文明國の日本、それも重要な兩町の連絡をとる此の道路がこの有様。此の苦狀は僕獨りの訴へではありません、兩町全部の訴へであつて、町會や縣會にも度々出てゐたと父が言つてゐました。

そして問題は結局、新しい廣いアスファルトの道を造る様になつたと言つてゐました。

今年は去年の様に大水はでなかつたけれども、楽しい樂

しいお祭の山車も高い爲に本町の方へ行かれずには残念でした。

そして櫻の花の咲き亂れる春、漸やく一箇年と半年の工事を終へて橋開きをしました。

今度は線路の下でなくして、鐵道線路の上を通つてゐますからどんな高い荷を積んだトランクでも一度下したりする事なく、愉快にスピードを出して通行出来るし、道が廣いので自動車や自轉車にひかれたりする憂等は絶対になく、

勿論大水が出ても通行禁止とか……新道は線路の十五六間上の方でした。

僕達にとつて社會の人にとって、此の位のよろこびは又とないでしよう。

道路の有難さ

熊本縣上益城郡七瀧村
上野尋常高等小學校

藤 本 次 雄

忘れもしない僕が四年生の一學期の事でした。譯もないのに何時の間にか僕の鼻に傷が出来て其の爲に大切な鼻が

はれた。痛くてくたまらない。所が僕の家は熊本平野を眼下に見る飯田山と言ふ高い山と肩を並べた高地でそれは随分はげしい坂道ばかりですがすぐおぢいさんと家の前から自動車に乗つて五里半もある熊本のお醫者さんに診察してもらひに行きました。自動車の中でも痛くてくたまらなかつたがやつと熊本の病院に着きました。

白い上衣を着たお醫者さんに見てもらつてみると、お醫者さんが、

「もう少しおくれなさつたなら、命を無くされて居なさつたかも知れませんでしたが、幸にして早く來られてよかつたですね。」

と言ひながらビンセツトやメスをお取りになつた。僕もおぢいさんも此の一言を聞いて急に驚きおぢいさんはふるひながら其の話を聞いておられた。

「鼻のみぞは大切な所ですからみぞに傷が出来てはれると命にかゝります。時間の問題です、本當におくれでもしたら大變でした。而しょかつたく」

と早く來た事を繰返しく、我が事の様に喜んで下さつた。

お醫者様は本當に本當に親切に勞つて治療をして下さいました。それにつけても時間の問題と聞いてすぐさま胸にどきつと浮んだのは道路の事でした。しかも自動車の自由に走る道路。あの道路がよく自動車を走らせて僕の家と熊本のお醫者さんの家を近くにしてくれた爲にお醫者さんも喜んで下さつたし、僕も助かつたのでした。本當に道路といふのは有難い物だ。もし此の病氣が四、五年前であつたら、牛や馬の背に乗つて行かねばならなかつたし僕の命はもう遠に無くなつて居たに違ひなかつた事でせう。

それからと言ふ僕は此の長い立派な道路の有難さがしみぐ感ぜられて一つの硝子が落ちて居ても拾つておかねばすまない氣になり感謝の念を持つて大切にして居ます。

僕等の通學道路

鹿兒島市大龍小學校

等四伊組 三 枝 茂 夫

鹿兒島驛から西郷さんの墓へ行く道筋は、立馬場通りと

いつて、僕たちの家から大龍小學校への通學道路です。あまり廣くないので、朝夕は自動車や自轉車で、とても混雑して雨の日などは、泥をはね上げられたり、けがをしたりする人がたく山ありました。

ところが去年の大演習前に立派に鋪装されて兩側の溝もきれいに改造されたので、見違へる様な街路になりました。今では、荷車をひく人、重い荷を積んだ馬車や、自轉車もかるさうに走つて行きます。

雨の日も風の日も、泥もほこりも立たぬなめらかな光つた道を僕等は列を作つて、安心して通學が出来るやうになります。こんな有がたいことはありません。

町の人々は街路には、きたないもの一つでもちらからぬ様に、毎日さうじをし、日曜日の夜は半鐘を打つて合づをすればどの家からも、一人のこらず出て、かけ聲いさまし水をまき、街路をあらひ清めます。

それで立馬場通りは、こんなに美觀を保てゐるのです。僕等も、紙くずやちりを散らして、街路をよごさぬやうに

注意せねばなりません。

だらうろあいごでー

石川縣羽咋郡上熊野尋常高等小學校

尋常科第二學年 中 村 喜 子

きのふはだらうあいごでーでした。それはみちをなほす日です。その前せんせいがせいとたちをあつめて、「けふはみちをなほします。くわでも、かまでも手でも、もつていらつしやい。」とおつしやいましたのでみんな大わらひをしました。それでみんなわかれてうちへかへりました。おひ

るのごはんをたべててんでんのものをもつて出ましたわたくしは少しあくれたのであせをふきふきかけつけました。

わたしは、なにももつてゐなかつたので草をむしりました。石をおこしたり、うめたりしてゐるうちにすつかりなほしてしまひました。おとなの人もなほしてゐましたがもうすんだらしく石にこしかけ、たばこをのんでゐました。やがて雨がぱたりぱたりとぶりかけて来ましたのでしんぱいしてみると、をとなの人たちが「子どもはかへれかへれ。」

といひましたのでわたくしたちはきれいになつたみちを見い見いかへりました。あとでおかあさんには「いいで一つでえいごですか。」とききますとおかあさんは「いいえそれはえいごではありません。ただでーといふのだけがえいごです。」と、おつしやいましたので私はむづかしいことばだなあと思ひました。

早川の大坂

神奈川縣高座郡綾瀬尋常高等小學校

尋六 大久保トミ

東郷元帥の御先祖の居られた早川城山の少し南、目久尻川のほとりから東の原へ上る所に大きな坂があります。

二三年前までは其の坂が急で、其の上赤土で、雨などが降ると、からだ一つ起すのさへ容易ではありませんでした。それでも早川の人は東の原の烟を作るのですから、車をひいては其の坂を上り下りするのです。霜どけのする麥蒔の時など、一つの車に幾人が汗を流して後押をしたことでせう。山のやうに積んだ麥の車をすべらせまいとしてど

んない苦勞したことでせう。よその村の人達もこの坂を通つては、隨分難儀をされました。それでは世間では早川の大坂といふようになりました。

この村の難所である早川の大坂を、昭和八年に村中總出で崖を切り崩し、坂道を切り下げて、廣く傾斜のゆるやかなよい道路にされました。そして砂利をたくさん敷き、兩側には水はけの溝を掘られました。

崖の高さは大へんなもので、地層も幾段かあらはれて居ります。雨の降る日、上の原から集つて崖の上から落ち来る水は驚くばかりで、華嚴の瀧もこんなであらうかと思はれるやうです。其の水は溝を押し流れて道へはまわりません。この工事は容易なことでは無かつたでせうが、お蔭様でらくらくと上り下りすることが出来るやうになりました。牛車をひくお百姓さん達も、小歌まじりに坂道を歩いて居られます。

今この坂は廣い東郷道路の一部となつて、道路の手入れもよくして下さいます。冬もぬかりません。坂の上の見は

らしも廣々としてまことによろしうございます。坂の下には天神様のお社があり、清水の流れるわさび田もあります。私達は坂道も心にかららず、涼しい朝風に吹かれながら生きくと育つ畠の作物を見てこの廣い道を學校へと急ぐのであります。

新道

香川縣三豊郡詫間小學校

尋六 石原美智子

私が毎日學校へかよつてゐる新道路は私が二年か三年の頃に出來たものです。私が一年生の頃は、今の新道路がついてゐる所は、五十纏足らずのせまいはばのほそ道だつたのです。學校へ通ふ途中なども、ほそい道だつたので雨のふる日などは、大へん危険でした。けれど今はひろくとした白い道路が氣持よくつゞいて、自動車なども通るやうになりました。雨のふる日もよこへおちる心配がなくなりました。さうして學校が前よりも近くなつたやうに思はれます。又學校だけでなく、おしゃか様へまいる時も新道路

を通つて行きますと、大へん道が近いのです。夏なども草の中にへびでもぬやしないかと思ふ心配もなくなりました。家のあとうさんやおかあさんも「新道路がついてから大へん心配が少くなつた。」と喜んでいらっしゃいます。それは、私たちが學校へ行く途中があぶなくないやうになつたから、心配をなさないのでせう。仁尾へ行くにも新道路を通つて行きます。新道路は私たちの大へん便利な道路だと、いつも學校の往復にさう思ひます。

道ぶしん

山形縣東田川郡黒川小學校

尋五男 佐藤勝見

つい此の間のことです。私達の部落の第四班の者が皆んなで近頃めつきり悪くなつて往き來の車や人々を難儀させてゐる道をふしんすることにきめました。

殊に雨あがりの時などは村端れの工場より積んでくる。

澤山の白土をつけた荷馬車があへぎく、兩輪を深く泥の中に入れて通ることや下駄を泥だらけにして通る人々、又自

動車が通り泥を兩側の軒下にはねとばして過ぎるたびに私は實に御氣毒に思つてゐました。では私は此の日は最初から一生懸命になつて働きました。

皆んなの力で道はみるくうちに立派になりました。通りかゝりの村の人々や隣村の人々は一生懸命に働いてゐる私達を

「感心ですね」「御苦勞ですね」等と簡単な言葉ではあるけれども心のこもつた言葉でほめてくれました。

餘程働いた時バスがやつて來て

「よくやつてくれましたね」と又車掌さんがほめてくれました。そしてあまりよく出來たからこんど學校からの歸りに乗せてくれることを約束してくれました。

その事があつてから一二三日過ぎて丁度學校の歸りにそのバスと會ひました車掌さんはバスをとめて

「お前達ではなかつたかね」と聞いて私達を乗せてくれました。

私達がこしらへた道を通るとき殊さら乗心地が良かつた

様な氣がして非常にうれしかつた。

新しい道路

岩手縣蘆澤郡水澤尋常高等小學校

高等科二年四組 高橋ヒサ

昭和十年の春に、私の裏の所から小林酒屋の横に通する新しい道路が土方達の働きによつて造られた。其の道路を町の人々は新しく出来たのであるから新道路と、名前をつけて呼んでゐる。夜等はあまり家がないので人通りが少いが晝は道路一帯が景色がよいので人通りが多い。この道路を南に抜けると停車場に行くによく又真直に東に抜けると農學校或は北上川に行くに近くて大變便利なよい道路である。今ではいろいろな物を販賣する店も多く出来て、文化の發達に見込のある町であるといふのであらうか、新道路と言はないで文化通りと呼んでゐたが、今では其の道路に春日町といふ名前がすつかりと、ついたので町の人達は春日町と呼んで盛んに往來してゐる。一月に二三回私の家に大きな車を引いて、下駄の修繕に来る勝手町の林太郎さん

が、何時もの時のやうに仕事に來た時私の父に向つて「裏に道路が出來たのでおかげで樂に車を引くことが出来る」等と話して喜んでゐた。ほんとに今まで、せまい道大きな車を年老た身で引っぱつて歩いたのだから、苦しかつたに違がない。私は林太郎さんと、家の父との會話を聞いてゐて、林太郎さんと共に、新しい道路の出來た事に感謝した。裏に道路の出來ない前には、私の家の前に馬車が止つてゐると自動車でも通れないほどせまくて不便であつたが今ではさうゆう不便もなく裏通り春日町を樂に通るにようになつた。時々人の話を聞くと、北上川方面から町に用達に來る人が多くて、人通りがだん／＼多くなつて來るに連れて、町の人達は田舎の人々を相手として賣買を營み大變な繁昌ぶりを見せてゐるさうです。ほんとしさういつて見ると、その道路が出來た爲か市目等には一般的の店にもお客様が多く、大變景氣がよいようあります。